

いつでもどこでも、高品質な脳波測定 ができる脳波計EEG-1290



脳波計は、てんかんやさまざまな脳機能障害の診断に使用され、頭に複数の電極を付けて、脳の活動による微小な電気信号を測定し、その変化を記録する医療機器です。近年、高齢化の進展により、高齢者のてんかんと認知症が増加しており、診断精度の向上と適切な治療実施の期待が高まっています。

EEG-1290は、さまざまなシーンでの脳波測定に対応したノートパソコンタイプの脳波計です。測定場所を選ばないコンパクトな設計で、検査目的や患者さんの状況に応じた入力ユニットと組み合わせることによって、診療所や検査室はもちろん、救急外来などでも高品質な脳波測定を行うことができます。

また、脳波検査レポート機能など多彩な機能を搭載しているため、より使いやすく、スムーズに検査・解析・判読が可能であり、診断精度の向上や業務効率の改善をサポートします。

一般家庭向け自動体外式除細動器 AED-3101 カルジオライフ



AED(自動体外式除細動器)は、心臓の筋肉がけいれんし、血液を流すポンプ機能を失った状態(心室細動)の心臓に対して電気ショックを与え、正常なリズムに戻すための医療機器です。

AEDは2004年7月から一般市民でも使用できるようになり、公共機関や企業などへの設置は増加しています。一方で、日本では年間約7万人^{*1}の方が亡くなっている心臓突然死のうち、70%以上が自宅で発生^{*2}していると言われており、一般家庭への普及は進んでいないのが現状です。

AED-3101^{*3}は、一般家庭でのAEDの普及と救命率の向上を目指し、従来品で好評な機能、小型・軽量設計を踏襲するとともに、無線LAN通信機能を新たに搭載しました。

国内で唯一のAEDメーカーとして、引き続きAEDの普及に努めるとともに、心肺蘇生の啓発活動を推進し、救命医療の発展に貢献していきます。

※1 出所：総務省消防庁 平成30年版救急・救助の現況

※2 出所：Resuscitation 2006; 69 221-228

※3 本製品は、国内一般家庭向けにセコム株式会社からの専売となります。
設置・価格などについては、セコム株式会社にお問い合わせください。

AEDを使用した日本光電社員の 迅速な救命活動により、2名を救助



南関東支店 病院営業部 横浜西営業所 所長
澤見 隆史



南関東支店 医療園営業部 三島営業所 所長
石井 博之

南関東支店の当社社員2名が、2018年10月と12月に、スポーツクラブと電車内で当社製のAEDを使用して人命救助を行い、消防署より感謝状が贈呈されました。

両名とも「自分がやらなければ、と自然に身体が動いた」「自社のオレンジ色のAEDが届いた時は安心した」「国内で唯一のAEDメーカーの社員である誇りと責任を改めて強く感じた」と話しています。

心停止や呼吸停止の可能性のある方を発見したら、一刻も早い救命処置が必要です。救急車が到着する前に、私たち一般市民が出来るだけ早く心肺蘇生を実施しAEDを用いて電気ショックを行い、医療機関で処置をすることが、大切な命を救うことにつながります。

日本光電では、迅速な救命活動が行えるよう全社員が心肺蘇生とAEDの講習会を受講しています。今後も、命に関わる医療機器を扱うメーカーとして心肺蘇生とAEDの普及を推進し、救命率の向上を目指します。

カタールのトップ病院で 生体情報モニタ商談を受注



2012年に設立した日本光電ミドルイーストでは、医療水準が急速に向上している中東・アフリカ地域において、市場の多様性に合わせて代理店網を整備し、販売力を強化してきました。その結果、カタールの国立ハマド総合病院グループの2病院から手術室・ICUでの生体情報モニタ商談を受注することができました。地道に当社製品のアピールを続け、2年をかけて病院のネットワークを管理するIT担当者と連携を図り信頼関係を構築したことが商談獲得につながったと言えます。当病院は、カタールにおいてトップクラスの国立病院であり、今後の波及効果が期待されます。

当社は、3ヵ年中期経営計画「TRANSFORM 2020」において、成長著しい新興国市場の医療ニーズに応えるため、戦略的な事業展開に取り組んでいます。今後も海外事業の強化・拡大を図るため、各地域の特性に合わせた販売・サービス活動をより一層強化し、高品質かつ先端的な製品・サービスの提供に努めます。